

## 政策評価調書（個別票①-1）

## 【政策ごとの予算額等】

政策名	市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る		評価方式	総合(実績)事業	番号	9-36
歳出予算額（千円）	19年度	20年度	21年度	22年度要求額		
（ 当 初 ）		707,288	655,647	906,685		
（ 補 正 後 ）		700,460	655,647			
前年度繰越額（千円）		0				
予備費使用額（千円）		0				
流用等増△減額（千円）		0				
歳出予算現額（千円）	0	700,460				
	<0>	<0>				
支出済歳出額（千円）		669,177				
翌年度繰越額（千円）		0				
不用額（千円）	0	31,283				
	<0>	<0>				
達成すべき目標及び 目標の達成度合いの 測定方法	（別紙19-4「政策評価調書（個別票②）」参照）					
政策評価結果を受けて 改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設統計においては、建築物ストックに関連する統計の創設等今後も将来を見据えた新たな統計ニーズを図るため、統計調査の見直しを行う。</li> <li>・交通統計においては、既存統計について、統計利用者の視点に立った統計データの加工、提供等を含め、将来を見据えた新たな統計ニーズを図るため、統計調査の見直しを行う。</li> </ul>					
評価結果の予算要求等 への反映状況	評価結果を踏まえ、引き続き既存統計の実施に必要な経費を要求するとともに、既存統計の見直しに係る経費を要求した。					

政策評価調書（個別票①-2）

【政策に含まれる事項の整理、棚卸し調書との照合】

政策名	市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る					番号	9-36		政策評価結果等 による見直し額					
	(千円)													
	予 算 科 目									21年度 当初予算額	22年度 要求額			
	整理番号	会計	組織/勘定	項	事項									
対応表に おいて● となっているもの	A	1	一般	国土交通本省	国土交通統計調査費	国土交通統計に必要な経費			442,845	799,814				
	A	2	一般	地方運輸局	地方運輸行政推進費	国土交通統計に必要な経費			212,802	106,871				
	小計									655,647 の内数	906,685 の内数			
対応表に おいて◆ となっているもの														
	小計									の内数	の内数			
対応表に おいて○ となっているもの										<	>	<	>	
										<	>	<	>	
										<	>	<	>	
										<	>	<	>	
小計									の内数	の内数				
対応表に おいて◇ となっているもの										<	>	<	>	
										<	>	<	>	
										<	>	<	>	
										<	>	<	>	
小計									の内数	の内数				
合計									655,647 の内数	906,685 の内数				



政策評価調書(個別票②) (政策評価書要旨)

評価実施時期:平成21年8月

担当部局名:総合政策局

政策名	市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る	番号	9-36
-----	-----------------------	----	------

**政策の概要**  
 現行統計の改廃や新規統計の創設、統計利用者の視点に立った統計データの加工、ホームページを通じた電子的な統計データの提供等を通じ、市場・産業関係の統計の体系的な提供を行うとともに、将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図り、統計利用者の利便性の向上を図る。

**【評価結果の概要】**

(総合的評価)  
 近年、政府統計に対して、ニーズに即した統計の一層の整備、結果利用の更なる拡大などの要請が高くなってきており、これらの要請を具体化していくため、市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る施策目標の達成に向けて、統計調査の改善、インターネットによる収録ファイル数の増強等を行ってきた。今年度においては、業績指標(206)統計調査の累積改善件数、(207)統計の情報提供量、ホームページへのアクセス件数、共に目標値に向け順調に推移していることから、目標年度における施策目標の達成に向けて堅実に進捗しているところ。

(必要性)  
 近年、政府統計に対して、ニーズに即した統計の一層の整備、結果利用の更なる拡大などの要請が高まっている。そのため、現行統計の改廃や新規統計の創設、統計利用者の視点に立った統計データの加工、ホームページを通じた電子的な統計データの提供等を通じ、統計利用者の利便性の向上を図る施策は、市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る上で必要性が高い。

(効率性)  
 平成20年度から開始された総務省の「政府統計の総合窓口(e-stat)」の本格運用に伴い、統計情報の提供方法の有効性及び効率性について検討し、e-stat等との連携・調整を行って来っており、こうした取組みを通じ、一体的な統計情報の提供に向けて、新たな統計ニーズへの対応とともに施策の効果的な展開を図りつつ、施策目標の達成に向け堅実に進捗していることから、本施策は効率的であると評価できる。

(有効性)  
 市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図るため、統計調査の改善、インターネットによる収録ファイル数の増強等を行って来っており、業績指標(206)、(207)共に目標値に向け順調に推移している。施策目標の達成に向けて堅実に進捗してきていることから、これらの施策の有効性は高いと評価できる。

(反映の方向性)  
 一体的な統計情報の提供に向けたe-stat等との連携等の検討  
 統計利用者の利便性向上に向けた統計調査の改善検討 等

**【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】**

達成目標	指標名	単位	基準値 (年度)	実績値			目標値 (年度)	達成目標・指標の設定根拠・考え方
				18年度	19年度	20年度		
市場・産業関係の統計調査の整備・活用を図る	統計調査の累積改善件数	件	1	1	3	6	7	現行統計の改廃や新規統計の創設、統計利用者の視点に立った統計データの加工、提供等を含め、将来を見据えた新たな統計ニーズへの対応を図るため、統計調査の見直しを行うことにより、統計利用者の利便性向上を図る。また、統計調査結果については、ホームページを通じて電子的な形や刊行物により統計データを提供しており、収録ファイル数及びアクセス件数を把握することにより、より一層の調査結果の活用、利用拡大を図るための指標とする。
	統計の情報提供量、ホームページへのアクセス件数(①収録ファイル数、②HPアクセス件数)	件	約5,000	約5,000	約5,300	約7,600	約9,200	
		件	約448,000	約448,000	約453,000	約487,000	約505,000	
		件	18年度				22年度	

関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)